

カリキュラム区分		5カリ			シラバス区分		大学院		
科目区分	科目コード	履修時期		開講専攻	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位	
		学年	学期						
専門分野	M226	1年	通年	看護学	選択	地域看護学・健康科学演習 Seminar on Health Sciences and Community Health Nur	60	2	
担当教員									
田中 美延里		鳥居 順子		入野 了士					
関連するDPキーワード（看護学専攻）									
	① 看護に関する理論学習を通して経験を意味づける力を身につけている。								
○	② 人々の健康に関連する諸現象を分析し構造化する力を身につけている。								
	③ 論理的に思考し他者にわかりやすく説明する力を身につけている。								
	④ 看護実践の場においてリーダーまたは管理者、教育者として個人や集団を動かす力を身につけている。								
○	⑤ 看護実践の質の向上に向けて問題意識を持ち、科学的に追求していく方法と態度を身につけている。								
	⑥ 保健医療分野に関して広い見識を身につけている。								
関連するDPキーワード（医療技術科学専攻）									
	① 臨床検査学について自ら深く学習する力を身につけている。								
	② ヒトの体の仕組みや機能を科学的に説明する力を身につけている。								
	③ 健康・病気について論理的に思考し他者に分かりやすく説明する力を身につけている。								
	④ 臨床検査実践の場においてリーダーまたは管理者、教育者として個人や集団を動かす力を身につけている。								
	⑤ 臨床検査実践の質の向上に向けて問題意識を持ち、科学的に追求していく方法・技術を身につけている。								
	⑥ 保健医療分野に関して広い見識を身につけている。								
授業目的									
地域看護学特論Ⅰ・Ⅱおよび健康科学特論で学んだ諸理論や実践への応用を踏まえ、地域における種々の健康課題解決を図る方策や看護実践への研究成果活用について、討論を通じて探究するとともに、文献を批判的に読み、研究に対する洞察力を深める。									
到達目標（授業目標）									
①地域看護学領域における研究課題が概観できる。									
②研究活動に必要な情報を継続的に収集することができる。									
③実践事例を構造化することができる。									
④省察の実践に向けてポートフォリオの作成ができる。									
⑤地域看護研究論文をクリティークし、自身の研究に活用できる。									
回	授業計画（項目・内容と方法・担当者）								
1回	ガイダンス：個人学習（文献渉猟と文献検討）と協同学習、各自の課題や探求学習・研究履歴の意見交換（田中美、鳥居、入野）								
2回	ガイダンス：地域看護領域における研究課題の概観（田中美、鳥居、入野）								
3回	フィールドワーク：継続的な情報収集、各自の職場やフィールドにおいて実践されている活動を事例に取り上げ、必要な情報を収集する。 （田中美）								
4回	フィールドワーク：継続的な情報収集、各自の職場やフィールドにおいて実践されている活動を事例に取り上げ、必要な情報を収集する。 （田中美）								

5回	事例の構造化 1：集団・組織・地域の健康課題の明確化や課題解決への支援方法の理論を活用し、事例を構造化する。（田中美）							
6回	事例の構造化 1：集団・組織・地域の健康課題の明確化や課題解決への支援方法の理論を活用し、事例を構造化する。（田中美）							
7回	事例の構造化 2：活動事例の構造化に基づく事例検討 集団・組織・地域を対象にした理論の応用について討論する。（田中美）							
8回	事例の構造化 2：活動事例の構造化に基づく事例検討 集団・組織・地域を対象にした理論の応用について討論する。（田中美）							
9回	省察的实践 1：省察的实践に向けて経験の質を高めるポートフォリオの意義とその作成方法（田中美）							
10回	省察的实践 1：省察的实践に向けて経験の質を高めるポートフォリオの意義とその作成方法（田中美）							
11回	省察的实践 2：ポートフォリオの作成（田中美）							
12回	省察的实践 2：ポートフォリオの作成（田中美）							
13回	省察的实践 3：ポートフォリオの披露による経験知の交換 省察的实践や人材育成への活用に関するディスカッションを行う。（田中美）							
14回	省察的实践 3：ポートフォリオの披露による経験知の交換 省察的实践や人材育成への活用に関するディスカッションを行う。（田中美）							
15回	科学的根拠と健康常識 1：科学的根拠の吟味（バイアス、因果関係、エビデンスレベル、疑問の定式化など）（鳥居、入野）							
16回	科学的根拠と健康常識 1：科学的根拠の吟味（バイアス、因果関係、エビデンスレベル、疑問の定式化など）（鳥居、入野）							
17回	科学的根拠と健康常識 2：実践編1：具体例で科学的根拠の裏付けを吟味（鳥居、入野）							
18回	科学的根拠と健康常識 2：実践編 1：具体例で科学的根拠の裏付けを吟味（鳥居、入野）							
19回	科学的根拠と健康常識 3：実践編 2：健康常識の点検（鳥居、入野）							
20回	科学的根拠と健康常識 3：実践編2：健康常識の点検（鳥居、入野）							
21回	論文クリティークと討論：量的研究方法を用いた地域看護学研究論文のクリティークとディスカッション（田中美、鳥居、入野）							
22回	論文クリティークと討論：量的研究方法を用いた地域看護学研究論文のクリティークとディスカッション（田中美、鳥居、入野）							
23回	論文クリティークと討論：質的研究方法を用いた地域看護学研究論文のクリティークとディスカッション（田中美、鳥居、入野）							
24回	論文クリティークと討論：質的研究方法を用いた地域看護学研究論文のクリティークとディスカッション（田中美、鳥居、入野）							
25回	論文クリティークと討論：アクションリサーチを用いた地域看護学研究論文のクリティークとディスカッション（田中美、鳥居、入野）							
26回	論文クリティークと討論：アクションリサーチを用いた地域看護学研究論文のクリティークとディスカッション（田中美、鳥居、入野）							
27回	論文クリティークと討論：地域看護学研究における倫理的課題の明確化とディスカッション（田中美、鳥居、入野）							
28回	論文クリティークと討論：地域看護学研究における倫理的課題の明確化とディスカッション（田中美、鳥居、入野）							
29回	まとめ：学習成果の発表（田中美、鳥居、入野）							
30回	まとめ：学習成果の発表（田中美、鳥居、入野）							
成績評価方法及び基準								
学習成果発表（100％）で評価する。60点以上を合格とする。								
教科書								
参考図書等		①Catherine Pope, Nicholas Mays, Jennie Popay. Synthesising Qualitative and Quantitative Health Evidence: A Guide to						
授業時間外の学習について（授業準備のための指示）								
個人学習として、自分の研究課題に沿って文献渉猟と文献検討を進める								
関連科目								
前科目	M223	地域看護学特論Ⅰ	M224	地域看護学特論Ⅱ	M225	健康科学特論		
後科目	M227	特別研究Ⅰ	M228	特別研究Ⅱ				
実務家教員								
保健師（行政機関）		田中 美延里	入野 了士					
備考		地域看護学特論Ⅰ・Ⅱ、健康科学特論の履修を前提とする						